

日中社会学会・北京日本学研究中心 共催
国際交流基金「知的交流会議助成プログラム」

国際円卓会議シリーズ

東日本大震災とその後——災害・復興・防災の日中比較を通じた新しい社会の模索

Groping a New Social System after East Japan Earthquake :

Dialogue Series between Japan and China

第2回「東日本大震災とソーシャル・キャピタル——信頼・規範・ネットワークの視点から」

プログラム

開催日：2011年12月24日
於：北京日本学研究中心3F「多功能庁」

午前の部（9:00～12:10）

司会：宋 金文（北京日本学研究中心）
首藤明和（兵庫教育大学）

- ・ 徐 一平（北京日本学研究中心所長）（9:00～9:10）
「開会の辞」
- ・ 西原和久（名古屋大学大学院環境学研究科）（9:15～9:55）
「東日本大震災から見えてきたこと——津波・原発・外国人、そして支援の問題」
- ・ 金 暁輝（東京大学大学院教育学研究科博士課程）（10:00～10:40）
「災害における『心のケア』の意義と限界——阪神・淡路大震災、四川大地震、東日本大震災の実践に関する考察」
- ・ 若杉英治（大分市役所）（10:45～11:25）
「市町村と地域コミュニティを主体とした震災復興——岩手県陸前高田市を事例として」
- ・ 李 升（北京工業大学人文学院）（11:30～12:10）
「四川大地震の三年後——灾后重建的物资分配与集中居住」

午後の部（14:00～17:00）

- ・ 趙 延東（中国科技發展戦略研究院）（14:00～14:40）
「社会資本与災害治理——来自汶川地震災区的調查報告」
- ・ 大谷順子（大阪大学大学院人間科学研究科）（14:45～15:25）
「被災地仮設住宅および復興住宅におけるコミュニティ形成について——1995年阪神淡路大震災・2005年福岡西方沖地震・2008年四川大地震・2011年東日本大震災の比較を交えて」
- ・ 段 躍中（日本僑報社編集長・日本湖南人会会長）（15:30～16:10）
「災害報道と日中協力——311 東日本大地震における中国メディア報道を中心に」
- ・ 全体討論（16:15～16:55）
- ・ 陳 立行（関西学院大学）（16:55～17:00）
「閉会の辞」